

AOCR 2025 クイズ大会参加報告

長浜赤十字病院 放射線科

日野 篤信

このたび、日本医学放射線学会のご推薦を受け、インド・チェンナイにて開催された

「IRIA & AOCR 2025」における第1回 International Radiology Quiz に日本代表として参加する機会を頂きました。本大会は、アジア・オセアニア地域を中心に約20カ国から代表が集まり、放射線医学に関する知識を競い合う、今回が初開催となる国際的イベントです。

クイズ大会は予選と決勝に分かれており、予選ではMRI、CT、Xpなどの多彩な症例のキー画像が大画面に呈示され、四択形式で解答するスタイルでした。残念ながら、私たち日本代表チームは予選で敗退しましたが、決勝は数百名を収容する大会場で開催され、各国から招かれた各分野の著名な放射線科医が出題者として登壇されました。スクリーンに映し出される画像と出題文に対し、各国代表が即座に解答を導き出し、さらには出題者と英語で堂々とディスカッションする姿に深い感銘を受けました。各国の優秀な放射線科医と知識を競い合えたことは、私にとって非常に貴重な経験となりました。

また、クイズ大会の合間には各国代表との交流の機会も多く、世界中の放射線科医と親交を深めることができました。今回の経験を通じて、インドの放射線科医の熱気や世界の若手放射線科医のレベルの高さを肌で感じる事ができ、今後のモチベーションにもつながりました。

今後は、国際学会への継続的な参加を通じてより高度な専門知識を習得し、日本の放射線医学の発展に貢献していきたいと考えております。

最後に、このような貴重な機会を与えてくださった日本医学放射線学会ならびにご関係の皆様、心より感謝申し上げます。

以上

